

平成27年10月 6日

土岐市長

加藤 靖也 様

土岐市新庁舎建設工事設計業務プロポーザル選定委員会
委員長 林 上

審査結果報告

土岐市新庁舎建設工事設計業務プロポーザル選定委員会（以下、「プロポーザル選定委員会」という。）は、平成27年10月1日及び同月2日に開催した委員会において、選定した業者から提出された技術提案書について各者からのヒアリング及び審査を行った結果、「最高得点者」、「次点者」を次のとおり特定したので報告します。

最高得点者 : 株式会社 東畑建築事務所 名古屋事務所
次点者 : 株式会社 山下設計 中部支社

審査講評

土岐市新庁舎は、現庁舎の抱える様々な問題を解消し、十分な行政サービスの提供と市民のニーズや時代の要請に応えるため、機能性・安全性・経済性・環境性に優れたものが求められています。その新庁舎に相応しい、柔軟かつ高度な設計能力、豊富な経験等を有する設計者を選定するため、公募型プロポーザルが実施されました。

プロポーザル選定委員会は、これまで3回に亘る委員会を開催し審議を重ねてきました。第1回委員会は本年7月13日に開かれ、土岐市新庁舎建設工事設計業務にかかるプロポーザル実施要領及びプロポーザル選定要領等について審議を行い、8月20日の第2回委員会では参加表明書を提出した12者について、事務所の実力、担当チームの能力等を総合的に評価し、プロポーザル提出要請者として11者を選定しました。10月1日、10月2日の第3回委員会では、技術提案書を提出した11者に対してヒアリングを実施するとともに、課題に対する各者の技術提案を多様な観点から審査し、最高得点者として株式会社東畑建築事務所名古屋事務所を、次点者として株式会社山下設計中部支社を特定しました。

最高得点者、次点者とも、土岐市の歴史や地勢、環境をよく理解した提案であり、現庁舎での業務を維持しながら新庁舎を建設するという厳しい条件を十分に踏まえた提案内容でした。また、新庁舎に求められる役割を認識し、周辺地区とのつながりや活性化を図るための様々な機能や方策が提案されていました。特に最高得点者の提案は、他の提案と比較し、独創的な部分が多くみられ、文化プラザの活用や人口減少を見込んだフレキシブルな庁舎の提案がされており、またすべての項目において高い評価でありました。次点者の提案は、市民ワークショップの豊富な実績や、徹底したコスト管理、また市民だけでなく職員のことも考えられた提案がされていることが高く評価されました。

その他の提案も、各者の持てる技術力を十分に発揮され、レベルの高いものでした。

ここに、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた関係各者に心より敬意を表します。また今後、特定された技術提案を基に、市民に親しまれ、市民の誇りとなる土岐市新庁舎が立派に整備されることを祈念いたします。